

本年の日供神饌講社大祭・饗宴祭は、六月三十日、甲賀市講元講員の皆様に大膳職以下所役をご奉仕いただき、賑々しく齋行できました。ご報告とともに講員の皆様に厚く御礼申し上げます。次第です。

近江神宮七十年祭記念事業

昭和十五年に創建された近江神宮は、平成二十二年（昭和八十五年）に御鎮座満七十年を迎えることとなります。七十年祭記念事業として時計博物館の改修工事が進められ、御創建当初以降奉納された絵画・美術品等も展示されることになっています。そのためこの六月十一日から一時休館して工事に入り、年末には竣工の予定ですが、その後、燻蒸、展示準備ののち来年の四月をめどに新装開館の運びとなっています。休館中・工事中は、ご参拝の皆様にはご不便、ご迷惑をおかけいたしますが、なにとぞご理解いただきますようお願い申し上げます。なお七十年祭記念事業への募金を受け付けておりますので、講員各位のご奉賛の程をよろしくお願い申し上げます。

椰（なぎ）の御幣 由来

特別講員には椰の枝に五色の御幣をつけた御幣を授与しています。椰の木は竹柏とも書き、針葉樹でありながら葉の幅が広いという特



弘文天皇祭 八月二十四日

天智天皇の皇子である第三十九代弘文天皇（大友皇子）のご命日に当る八月二十四日（弘文天皇二年七月二十三日を太陽暦に直した日）近江神宮では弘文天皇ゆかりの三井寺（園城寺）・御霊神社と共催で、弘文天皇をお祀りしている各神社の関係者ほかが集まって弘文天皇祭が行われています。三井寺は弘文天皇の供養のために創建されたと伝えられ、御霊神社は弘文天皇をお祀りする大津市内の神社です。弘文天皇は日本漢詩の祖とされ、日本最初の漢詩集である『懐風藻』には御製二首が収められています。詩吟関係者によって境内に作られている「吟友の碑」にもその詩『侍宴』が刻まれ、この日、吟詠が奉納されます。



饗宴祭特殊神饌

献茶祭 6/9  
裏千家大宗匠お点前奉仕



皇明光日月  
帝徳載天地  
三才竝泰昌  
萬国表臣義  
(『侍宴』)

殊な形態をしています。熊野神社・春日大社など御神木として崇められている神社も多く、古くから神霊の宿る木、神の依代と見なされた樹木の一つです。この葉を笠などにかざすことで魔除けとなり、帰りの道中を守護して下さるものと信じられていました。

配流中の源頼朝と北条政子が椰の木の下で愛を誓って結ばれたロマンなどにより縁結びの神木とも考えられ、また横に裂くことが難しいという葉の構造上の特徴、葉の丈夫さにより夫婦円満のお守りとして女性が鏡の裏に入れておく習俗があったといわれています。

椰の御幣は、水につけておくと一か月以上もちますが、葉が枯れても落ちる事はありません。神棚など、清浄な所に水につけて立てかけ、おまつり下さい。

輪注連縄（わじめなわ）由来

相嘗講員以上の講員の皆様には輪注連縄を授与しています。輪注連縄は、巴の形を意味し、巴は宇宙の気が渦を巻いている姿を表わしています。森羅万象を動かす背景の象徴が巴で、これを形どった輪注連縄を、一般の注連縄に代えて境界の標とする所も多く残っています。二見興玉神社などでは輪注連縄で体を撫でることにより身についた穢れや不浄を祓い除けるものとしています。門口、玄関床の間、室の入口、神棚、台所など神聖な所、大切な所の柱などにかけていただき、家運隆昌・除災招福の御守に、また、自動車交通安全守護等、日常の厄除守りとしてお掛けください。



本年後半の祭典行事

- 七月七日午前十一時 燃水祭
- 七月十九日・二十日 全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会
- 七月二十六日午後四時 納涼祭
- 七月二十二日午後一時 献書祭
- 七月二十四日午前一時 弘文天皇祭
- 十月三日午後四時 観月祭
- 十月二十四日 観世梅若流能楽奉納 (湖信会主催)

- 十一月三日午後〇時三十分 流鏑馬神事
- 十一月七日午前十一時 御鎮座記念祭
- 十二月一日午前十一時 初穂講大祭

大津市内の著名社寺で組織している湖信会の五十周年記念行事として、本年十月二十四日、観世梅若流によります能楽が近江神宮大前に奉納されることになりました。詳細につきましては期日が近づきましたら報道されることと思っておりますが、関心のある方はご予約に入れておいてください。

新型インフルエンザ、ひところほど騒がれていませんが、いまだ終息したわけではなく、冬が近づくとともに毒性を強めて再び流行してくるのではないかと懸念されています。体調管理・感染防止に十分にご注意いただきますよう、ご健康の程をお祈り申し上げます。



漏刻祭時計献納 6/10